

クラス番号	909	ゼミタイプ	多職種連携型
		担当教員名	山口みほ
テーマ	医療ソーシャルワークを中心に、医療福祉の視点から多職種連携による患者・家族の生活支援を学ぶ		
ゼミナール概要			
【目的】 ①医療ソーシャルワークの視点から患者・家族の抱える経済的、心理・社会的問題を理解し、医療機関内および地域における様々な職種との連携による問題の解決・軽減に向けた支援の在り方を考える ②学習活動を通して、文献の読解力、調査時の作法、プレゼンテーション方法、レポート作成の作法等を身につける 【内容】 医療ソーシャルワーカーの援助事例をもとに、 ①傷病を持つ人とその家族の生活の実態をニーズを把握する ②医療ソーシャルワーカーが連携する他職種・他機関を把握し、それぞれの職種・機関の役割・機能を調べる ③患者・家族を支援するための多職種連携の現状を理解し、課題を考察する 【方法】 ①医療ソーシャルワーク事例や患者・家族の手記等の文献調査、文献学習を行う ②小グループで患者会・家族会の見学、またはメンバーの方へのインタビューを行い、レポートを作成する ③文献および患者・家族からの学びをもとに、医療ソーシャルワーカーへ多職種連携による支援についてインタビューを行い、連携する他の専門職の役割・機能・業務内容・法的基盤等を調べる ⑦学習の成果を小グループでまとめて発表する ⑧1年間の学びをまとめて最終レポートを作成する 【授業計画】 詳細については、ゼミ内で相談しながら進めていくが、主に前期は患者・家族理解、後期は医療ソーシャルワーカーを含む専門職理解を中心に進めていく			
担当教員からのメッセージ			
医療現場は児童、高齢者、障害を持つ人、経済的な困難を抱えた人、地域生活上の困難を抱えた人等、様々な福祉的課題を抱える人に出会う場所です。多種多様な人の多種多様な課題の解決の歩みを支えるためには、ソーシャルワーカーだけでなく、様々な専門性を持つ人たち、そして家族・友人・地域の人々等の力が必要です。医療ソーシャルワーカーを目指す人、医療にかかわる社会問題に関心がある人はもちろん、漠然と「福祉」に関心はあるけれど、何をどう学べばよいかわからないという人も、まずは多種多様な人々の置かれた実際を知るところからはじめ、一緒に学んでいきましょう。			